

2020年度

一般入学試験3期及び学内AO入学試験4期 筆答試験問題

千葉商科大学大学院  
商学研究科  
(政策情報学コース)

次の2つの課題の中から1題を選択し、日本語で1,500字程度で解答しなさい。

	問 題
課題1	<p>富士フィルムが2020年2月5日にYoutubeなどに公開した新製品デジカメのプロモーション映像が炎上し公開中止となった。</p> <p>内容はストリートフォトグラファとして世界的な活躍をしている鈴木達郎氏が新製品のX100Vを使用し渋谷の街で撮影する様子と氏のインタビューを交えた映像となっている。</p> <p>氏の撮影スタイルはストリートスナップというジャンルで、街自体の鼓動、緊張感といった空気そのものを、行きかう人々の素の表情によって生き生きと切り取るというものである。</p> <p>今回炎上した理由は、まさにその生々しい撮影スタイルにあるようだ。普通に街を歩いている人の前に突然立ちふさがり、カメラを向けシャッターを切った瞬間にすり抜けるという方法で、一瞬のことに多くの人たちが不快感をあらわにするという映像が繰り返される。</p> <p>もちろんその様に撮影する理由を氏はインタビューで述べているのだが、被写体の不快感を浮かべる表情に視聴者が反応し、炎上となった。</p> <p>様々な意見がネットを駆け巡ったが、一般の方たちの意見はほとんどが氏への批判であった。</p> <p>しかし、プロのフォトグラファの方たちの多くが少々違った見方を示した。彼らはこれがデジカメの販促プロモーションであることを指摘し、富士フィルムのマーケティングに対する不信感を問題にしたのだ。</p> <p>そもそも古くからストリートスナップのジャンルでは鈴木氏の様な手法は多く行われており、社会的にも文化的にも認知されていた。</p> <p>いきなりカメラを向けられることにとまどう人がほとんどだが、自分が生きている街の現在を表現するために自分がその登場人物になることに対する誇りと寛容さがこの手法を支えていたと考えられる。特に海外ではメディアのアイコンになること自体がステータスと考えている人が多いようにも感じるのは、このような文化が浸透しているのと、フォトグラファの地位の高さが感じられる局面だったりする。</p> <p>いつからか日本ではうかつに街で不特定多数の人を撮影し登場人物にすることを良しとしない風潮が産まれた。背景には商業的な使用に対する肖像権の問題も当然あるが、鈴木氏の様な商業カメラマンというよりはフォトグラファと</p>

して表現活動をしている人物をプロモーションに使うのなら、氏の手法をもって肯定的にとらえた演出を行うべきだったのではないかという意見もある。

実際、炎上の行き先は富士フィルムではなく多くは鈴木氏個人に向かってい  
る。それに対し富士フィルムは特に氏に対し公には謝罪していないし、不適切  
なプロモーションであったとしか言及していない。

スマホをはじめ、多くの人が手軽にカメラを持ち、SNS に写真をアップして  
いる。そのほとんどが気軽なスナップといえるが、気軽なコミュニケーション  
ツールとしてのカメラとは違う表現の道具としてのカメラの二面性が現れたよ  
うな出来事だった気もする。

政策情報学において社会とメディアを学ぶものとして、あなたが当事者であ  
ったらこの様な事例に対しどのような意見を持ち、表現における社会性をどのよ  
うに論じるのか、できるだけ具体的に述べなさい。

近年、SDGs（持続可能な開発目標）に関する様々な取り組みが各所で進  
められているが、SDGs の考え方で「複数課題の同時解決」という考え方がある。

地域や社会は様々な課題を抱えているが、その中で、「複数課題の同時解決」  
の実現を見込める課題にはどのようなものがあるか。具体例を挙げ、SDGs  
の各目標との関連を説明した上で、それらの課題を解決する上で必要な組み  
みや連携すべき組織等について論述しなさい。また、同時解決による副次的効  
果にはどのようなものが想定されるかについても論述しなさい。

課題 2



The graphic displays the 17 Sustainable Development Goals (SDGs) in a grid format. Each goal is represented by a colored square with a white icon and a number. The goals are: 1. No Poverty, 2. Zero Hunger, 3. Good Health and Well-being, 4. Quality Education, 5. Gender Equality, 6. Clean Water and Sanitation, 7. Affordable and Clean Energy, 8. Decent Work and Economic Growth, 9. Industry, Innovation and Infrastructure, 10. Reduced Inequalities, 11. Sustainable Cities and Communities, 12. Responsible Consumption and Production, 13. Climate Action, 14. Life Below Water, 15. Life on Land, 16. Peace, Justice and Strong Institutions, 17. Partnerships for Goal Achievement. The text 'SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS' is prominently displayed at the top, and '世界を変えるための17の目標' (17 Goals for Changing the World) is written below it. At the bottom right, it states '2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です' (This is the 'Sustainable Development Goals' agreed upon by the world for 2030).